

第 51 回市民ふれあいトーク 学校・家庭・地域をつなぐまちづくり

日時 平成 26 年 3 月 16 日 15:00~16:30

場所 ライフパーク倉敷 視聴覚ホール

要約版

市長

皆さんこんにちは。3月の年度末、それぞれにお忙しい中、また大安ということで行事も結構ある中で、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

今日は「学校・家庭・地域をつなぐまちづくり」ということで、平成20年の私が就任をしました時から、大体月1回ぐらいのペースでしておりまして、今日51回目ということになります。「学校・家庭・地域をつなぐまちづくり」がテーマですが、最初に倉敷市のトピックスのことなどにつきまして、少し私の方からお話をしたいと思います。

今日平成26年3月16日、昭和で言いますと昭和89年3月16日でございますが、ここ数日来、新聞などに少し出ておりますが、実は、今日は倉敷市の瀬戸内海国立公園が日本で第1号の国立公園に指定されまして、ちょうど80周年になる日でございます。実は、朝から児島の鷲羽山の展望台の所で記念式典がありまして、岡山県側と香川県側の両方の県知事さんとか副知事さんとか近隣の市長さんとかも来られまして、記念式典をいたしました。日本で1番最初に雲仙と霧島と我々の瀬戸内海国立公園が指定をされまして、知っている方も結構いらっしゃると思うんですが、実は今の瀬戸内海国立公園は和歌山県から大阪とかずと瀬戸内海の県、それから福岡、大分まで11の府県にまたがる大変広い地域が今の瀬戸内海国立公園になっておりますが、最初に指定されました昭和9年の時には小豆島、屋島、それから渋川海岸、王子が岳、鷲羽山、それから福山の鞆までの非常に限られた地域だけが指定をされまして、そこから何度か拡張ということで、今に至っております。非常に世界からの評価も高い公園ですので、80周年を記念として頑張ってもらいたいと思っておりますので、宜しく願いをいたします。

さて、今日このテーマをお願いしまして、私だけでは教育の内容のことでわからなかったら困りますので、教育長と一緒に来てねとお願いをしまして。一応、学校と入っているんですが倉敷市では、学校の色々な予算を付けたりというのは市の私の方が担当しておりまして、中身の方はこちらの教員の専門の教育長はじめ先生方にやっていただいているという状況になっております。それで今日一緒に来ていただいたんですが、

倉敷市の教育の環境、また後で井上先生からお話をしてもらおうかと思うんですが、皆さんが非常に興味を持っていただいて、かつご心配もいただいていると思います。たぶん、お勉強のことと、いじめ、不登校のことじゃないかと思えます。ここ何年か全国学力テストというのが行われまして、岡山県の学力が非常に低いと、43番ぐらいでしたかね。今38番とか、少しずつ上がってきているんですが、低い中で倉敷市はまだまだ県平均と同じか、少し上がってきたりしてはいますが、飛び抜けて良いというわけではないということで、学力の方もこれから頑張っていかなければいけない状況にあると思っております。

それからいじめ・不登校につきましても全国の中でも非常に厳しい状況です。倉敷市は県内の中ではそんなに悪い方ではないんですけども、まだ環境が良くないということで、例えばパンフレットを作りまして、子どもたち・親の皆さんにお配りをしたりとか、地域の皆さんにご協力を頂いたりということで色々やっているんですが、今日あまり教育の内容のことに入るよりも、ここにお願いをしましたのは皆さんが地域でそれぞれ、例えば子

ども会をやっていただいたり、またPTAをしていただいたり、また青少年を育てる会がありますとか、婦人会とか色んな活動をしていただいていると思いますが、その中で感じられていることを、学校との関係とか、それから自分がこういう活動をしているんだけど、前と違ってこうなったとかということを是非とも教えていただきたく思っております。私が全部お答えできるような内容ではないかと思うんですが、以前と比べて私がよく伺うのは、子どもが地域の中であまり人との関わりをしていないと。例えばいじめとか、非行につながっているんじゃないとか、地域ではPTAの皆さんなどが登下校の時に角々に立っていただいて、見守りをしていただいているわけですので、その地域との関係で子どもさんがそんなに孤独ではないと思うんです。でも地域の方に伺っても、また学校の先生に聞いても、以前大阪の池田小学校の事件があって以来、学校の門というのは基本的には閉めているということになっていきますので、何か地域との距離がちょっと遠くなっているようで。

今、それを少しずつ縮めていこうということで、例えば皆さんの中でも関わっていただいている方もいらっしゃると思うんですが、学校を地域で支援してやろうと、平成21年から倉敷市でも学校支援事業ということで、以前だったらこんな名前がなくてもやっていただいていたと思うんですが、今地域の皆さんの中でコーディネーターという方をお願いしまして、学校の花の植え付けとか、ゴーヤとか育てる時に地域の方に学校に来ていただいて、一緒に花壇をしたりして子供たちと触れ合ってもらって、距離を縮めていこうということをやっていただいています。今、校数が20校ぐらいに増えています。段々増えてきております。色んな面で、見守りだったり、若しくは子ども会だとかそれぞれの活動、また児童クラブとか放課後子ども教室とか色々あるわけですけど、それで活動していただいていると捉えています。皆さんが忌憚なく子どもたち、学校について思っていることを是非とも教えていただきたく思っております。ちょっと井上先生のほうからお勉強のことなど、頑張っていますということも含めてお願いします。

教育長

今市長の方からお話がありましたが、学力については一昨年、岡山県全体で中学校が45位、小学校が42位ということで全国でも下位に低迷し、その中で倉敷市は県の試験では下の方にあったということで、議会、それから学校の保護者の方から倉敷の教育は大丈夫なんだろうかというご心配を頂きました。

倉敷市が、岡山県、あるいは他の県とどこが違っているのかということ进行分析してみると、0問から大体20問全国の学力テストに問題があるんですが、特に倉敷市に課題があるのは、0問から5問までの出現率が非常に高いと。普通このカーブが山になって20問が非常に少なく、0問も1番少なく真中が多い。平均が真中ぐらいに来るのが普通なんです、0から5、よく分からない子供さんの割合が高くて、それが全体の平均を下げています。そうしたら学校としてはどんなことをやっていくかという、やはり漢字の読み書きであるとか計算の基礎問題、これを特に小学校の3・4年生あたりからやっていかないといけないということで、今、大変力を入れてやっております。昨年、一昨年から年度途中の補正予算で、いわゆるつまずきが出やすい3年生4年生あたりに少人数指導を。ですからなかなか基礎ができていないグループと基礎はできているけど応用をやるという2つのグループに分けて、そこに免許を持った非常勤の方を配置してクラスを2つに

分けて、基礎を徹底的にこっこのクラスはやると、それができるようになったら次の別のクラスに、ということで今、取り組んでいるところです。

本年度も先日議会が終わりまして、予算をこの非常勤だけで7000万円ぐらい人件費を付けていただいております。市の単独で。県が配置してくれてないところを全部単市で、おそらくこれくらいの予算を付けてやっている自治体は、岡山県下の中では倉敷だけだと思います。市を挙げて子供さんの学力向上に力を入れている。一体こういう状況がどうして出てきたのかということも教育委員会の中でも考えてみたんですが、一番大きなきっかけになるのは、平成14年に皆さん方ご存知のように、学校が土曜日お休みになりました。それまで例えば、土曜日は一回帰ってから、また学校へ行って子供さんを教えたり、また土曜日には学校の先生が夕方遅くまで子供さんを訪問したりして、勉強を教えておったという実態があります。

もう一つは先ほど市長からお話があったように、大阪の池田小学校で子供さんが殺されるという大変痛ましい事件がありまして、それ以来たぶん倉敷市では、どの学校でも見回り隊という地域のボランティアの方が、例えば4時から4時半のぐらいに学校に子供さんを迎えに来てくれて、そのままお家の近くまで無事に連れて帰っていただける。ただそこで問題が出てくるのは、今日来られている方はいらっしゃらないかも知れませんが、普通私たちが小さいころ、宿題をしてなかったら残されました。小テストをやって、テストが悪かったら残って出来るまで、100点をとるまで昔はやっていました。ところが今の、平成14年をさかいにして、放課後残せなくなった。危ないんで、勉強と命のどちらが大事なんですかと言われると、どうしても子供さんの命が大事だということで、そこから放課後に残して勉強することは私の実感としては少なくなったんじゃないかなと。ですから、今はそこをできるだけ使わずに、例えば昼の時間とか朝とか、そういう補習授業を各学校でものすごくやってくれていると思います。ですから学校として一番ありがたいのは、例えば子供さんを5時とか6時まで残した時に地域の方が見回りで、その時間に来ていただければ非常にありがたいんですが、なかなかそういうわけにはいかないんで、そのあたりを学校で工夫してやっているところです。

そして何ができていないのかという分析を今、教育委員会の中で一生懸命行っております。大体分析をしてみますと、倉敷市が特に悪いところは、例えば「料理人を志す」という、「大志を抱け」の「志」という字なんですけど、この読みを市と県を比べてみますと、マイナス4.6点の差がある。ですから倉敷市はこの読みができていない。あるいは、計算で言いますと、「6.4 - 0.31」これを小数点をそろえて計算していくんですが、倉敷市はこれも4.1点低いんです。右側に数字をそろえて上から下を引いていくんで、全部こういう間違いをしている。そこはしっかり間違いが多いところは、各学校へお知らせをして重点的にやっていただく。その一環として、昨年12月の単市の補正予算で春休みの宿題。たぶん皆さんのお孫さんや子供さんが持って帰られると思うんですが、学力テストでできなかったところを網羅して、倉敷市独自で問題を作っています。もし子供さん、お孫さんがいらっしゃったら、お家で春休みに持って帰ると思いますので、是非やっていただけたらと思います。とにかく基礎問題をしっかりやっという今取り組んでいます。

市長

学力が何故悪くなったかということで教育長の見解を頂きました。やることは色々あると思います。しばらく倉敷市は2学期制でございました。井上教育長になり、今年の4月から3学期制に戻ります。子供さんも通信簿の回数も増えますし、親御さんとの面接の機会も増え、新たな展開があったり、土曜日授業とか何日か増やしたり、そういうことで少しずつでも改善ができればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それでは学校について、日ごろから皆様の活動の中で思われていることとかで、何か発言を頂ける方がいらっしゃいましたら、お願いをしたいと思います。

参加者Aさん

個人的なことですけど、孫がおりまして、小学2年生なんですけど、さっき教育長さんが言われました、春休みの宿題は小学校1年生から6年生までですか。5、6年だけですか。それはちょっと残念です。

昨日たまたま、私と家内で2歳の双子の孫二人を守りすることになって、自宅から5千歩くらい歩くんですけど、みらい公園まで往復して歩かしたんです。歩けるのかなあと思うんですけど、実際歩けたんですよ。びっくりしたんです。入り口が遊技場なんですけど、3歳4歳の子供は遊んでたんです。またがるところがあるんです。最初はわからんから私もまたがせたら、2回目からは学習して2歳にはちょっと無理だったんですけど、パッとまたがって足を右から乗せて、すごいなあって、1回するだけで子供は学習するんだということをこの年になって知ったんです。勉強も大事なんですけど、2歳3歳ぐらいまでは基本的なことを教えれば、子供は好奇心が非常に強いんで、大人がチャンスを与えてやれば毎日少しずつ進歩するんで、3歳までは我々大人が家庭で躰をやって、しっかり子どもを見守って、小っちゃい子供が何を考えているんだと観察するというか理解してやれば、今度小学校へ行った時に人様に迷惑をかけない、そういう子供になってくれるんじゃないかと思うんで参考にさせていただければ。よろしく願いします。

市長

今、大人がしっかりせんといかんということで、非常に大事なことだと思います。今ゲーム世代の子供たちが親になられ、それを見て育てている子供さんは外で遊ぶんじゃなくてゲームという子も結構いらっしゃると伺いますので、家庭でお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に住まれているところはいいと思うんですが、なかなか難しいところもあると思いますので、そういう面でもっとこういうふう頑張ればいいなということとかも、今日お話を伺いできればと思います。

参加者Bさん

連島のもんです。学校評議員とか色々経験させていただきまして、子ども会も現在やっているんですが、学校の中で道徳の授業というのはやっとならぬですか。(週1回)とりあえず子どもは挨拶ができません。見回り隊に行っても、「おっちゃんありがとう」という子は本当に少数です。これは5年前始めたころはしっかりできていました。今市長が言われたように、ゲームの中で育った人が親になっていますので、とりあえず挨拶ができません。それを何とか改善できれば、道徳もわかってくるだろうし。先生方も若い先生方が挨拶ができないんですよ。特に新任の先生、学校へ行ったら、先生の声がけが足りないかなあ

私は思うんだけど、こっちから声をかけて初めて返るというような状況なんで。とりあえず挨拶ができれば改善ができるかなと思いますので、よろしくお願いします。

市長

朝学校の所で大体校長先生とか教頭先生とか、「おはよう」と。そのあたりの状況はどうでしょうか。

参加者 B さん

校長先生が言ったらしよう。地域のおっちゃん、おばちゃんが言ったら返らない。

市長

そうですね。知らない人とはしゃべらないように、ということでしょうか。

参加者 B さん

私も評議委員を7年8年やってますけど、知っとるつもりでも子どもは返りません。これは中学校でもそうです。20年も前から荒れてますけど、とりあえず挨拶ができません。先生は一生懸命やとられます、確かに。よく分かります。地域の悪いところは順番に回るんだけど、私は中学校の青少年を育てる会の会長もやらせてもらっています。学校へもよく行きます。一生懸命やってくれているんですが、とりあえず挨拶がありません。

市長

挨拶は基本だと思います。

参加者 C さん

私は西阿知地区で地域の支援員として学校に入っているのと、放課後子ども教室と子ども会の方をさせていただいています。先ほどの井上教育長のお話で、7千万円ぐらい予算を取られているとお聞きしたんですが。私も幼稚園とか小学校1・2年生の学習支援に入っているんですけど、その場で見て先ほどBさんが言われたように、6～8年前に比べて子供の落ち着き度が、ちょっと違ってきているのかなと。

そして先生方も疲弊していて一生懸命やっておられるのは存じ上げているんですが、教員の資格を持った方の補助というか、1年生はグッドスタートの先生がおられるんですが、それだけではちょっと足りないのかなと感じています。学習支援にも入っていますけれども、まだ3月の時点で、一桁一桁の足し算を、指を使ってしかできない子供さんとか、2年生の掛け算に関してもずっと答えが出てこないようなお子さんがいらっしゃって、日々先生方とお話をしながらしているわけですけども。そういう幼稚園、小学校とのつながりのある教育というか、そういう支援について、市長はどうお考えですか。

市長

まず一つには教員の先生、支援員の方をお願いをしているのは、正規の教員の先生は県から来られるように、ご存じのとおりなっております。それで県がその人数を国から取ってきてまして、配置をすることになっていまして、市がそれに加えてというのはなかなか難

しいので、非常勤の方とか、支援員の先生に来てもらって、それをサポートするという仕組みになっています。正規教員の方がどのくらい、例えば25年度と26年度と比べて増えるかという、倉敷市も県の方にかなり言っているんですが、岡山県全体で10人しか増えないんだそうです。その内倉敷市には4、5人来ていただけるとしても、なかなか抜本的な教員の増配は難しいということがあって、市独自の支援員の先生をお願いしたりとか非常勤の方をお願いしたりということで頑張っているんです。私が今後に向けて、希望的な考えを持っておりますのは、来年、平成27年度から、聞かれた方もおられると思うんですが、子ども・子育て支援新制度というのができます。幼稚園や保育園について、今までですと、親御さんが働いていらっしゃったら、子供さんは保育園の方へ行ってくださいと、親御さんが働いていらっしゃらなかったら、幼稚園の方へ行ってくださいと、もちろんいなくてもいいですよということだったんですけど。今までだったら、親御さんが働いてなかったら幼稚園、基本的に午前中だけということです。それが今度は、働いてなくても午後からもうちょっと長い時間、例えば4時までとか、もっと周りの子供たちと触れ合った方が切磋琢磨して成長すると思うんです。それが27年度から可能になります。保育園の方でも、例えば今よりは教育的な面とかをやる保育園が増えてくるのではないかなと思うんですが、国からまだはっきり言われていないんですが、今ある幼稚園と保育園の垣根みたいなものが下がってきて、両方とも教育もできるし、それから保育の方も幼稚園でももっとできますよとなってくるので、今よりは少し改善していくのではないかなと思っています。それから確か、幼稚園と小学校とかの連携もしているんですね。それから小学校と中学校の連携とかを先生たち同士の連携を以前はやってなかったんですけど、一昨年ぐらい前からやるようになって、その引継ぎをもっとしっかりと段々やっているんです。子ども・子育て支援新制度には、結構期待をしているんです。頑張りたいと思います。

参加者Dさん

第五福田小学校区の地区社協の役員をしております。今、段々と青パトが増えつつありますけど、私どもの五福は5年前から青色パトロールを導入しまして、今6台の車が許可をもらって青い光を照らしながら、毎日とりあえずは学校の登校の時間に代わる代わる、私の場合は木曜日ですけど、6人がそれぞれ曜日を決めて、大体7時から7時40分ぐらいまで、地域のパトロールを。マイクで流しながら7時40分に子供が登校してきますので、正門で車を止めて、五福の場合は校長、教頭、その他の先生が必ず5、6人出て、「おはよう」とハイタッチをしながら、にこやかにあいさつすることをずっと続けておりますと、他の時間帯、下校時なんかでも「お帰り」と言うと、「ただいま」「ありがとう」とか。先ほど挨拶がないというのは、本当に私たちもさみしい思いをしとったんですけど、だんだん改善されつつあるかなと。ただ池田小学校の例もあって、知らない人にはものを言うなという、挨拶をするなという風潮があるのは非常に残念です。ところが五福の近隣の小学校は青パトがないところがあるんですね。私たちも少し枠を広げていきまして、「おはよう」とか、「お帰り」と言ったら、あんた何、という顔で見ると。したがって毎日校門でそういう挨拶をしておると、それから地域をパトロールするかせんで子供の受け止め方がかなり違う。また学校でも、もう少し挨拶をするよという教育をする必要があるかなあと。私どもは段々とそういう教育ができていくなあと感じております。

それからもう一つ、放課後とか日曜日に子供が自転車に乗ります。自転車が今、学校で

どういうふうに通導の教育をしているかわかりませんが、これが非常に乱れておりまして、車に乗っていても危ない目をします。小学校、中学校を通じて通導のマナー教育、できれば地域の人と一緒に、我々高齢者もそういうことを勉強せにゃいかんし、子どもと一緒に教育を受けるようなことができるかどうか。中学も含めてやりませんか、中学生になるとかなり大きいですから、お年寄りにぶつかって大けがをしたということも耳にします。その点よろしく願います。

市長

自転車のマナーがなかなかよくないということですね。最近の子どもさんはわりと声が小さいという気がしますけれどね。自転車の教室はどうなんでしょうか。

教育長

自転車は学校ごとに4月の1年生が入学する時点で、通導教室をほとんどの小学校でやっていると思います。それと今増えてきたのが、家に帰って自転車に乗るときにヘルメットかぶろうと。かぶっていないと死亡率が高いんで、学校に教育委員会からお願いしているところです。通導マナーについては、しっかり通導していきます。

市長

中学生はヘルメットをかぶってないんですか。
(かぶっていない。籠の中で。学校が近くなったらかぶるんです。)
そうですか。危ないですからね。

挨拶からまずしないといけませんね。例えば学校で顔見知りになったおじちゃん、おばちゃんには挨拶を返してもいいですよとホームルームで言うとか、どうですかねえ。

皆さんから色々お話を頂く中で、さっき通導の話がBさんがされましたが。倉敷の市民憲章がございます。学校に行ったら講堂に校歌がありまして、卒業式とか入学式で歌うわけですけど、もう一つ倉敷市の市民憲章を貼って。ちょうど今年が瀬戸内海の80周年とか、高梁川流域連盟60周年ということで、これをみんなで唱和する機会が多かったんですけど、そうしたら大人の方から倉敷の市民憲章は非常に良いと。いつの時代でも皆で唱和をすることを、学校でやりましょうと。26年度からやるということで、これ(市民憲章)を大寫しにして講堂へ貼って入学式とか卒業式とか始業式で。これを貼るんですか。

教育長

もっと大きいやつで、これは鷲羽山なんですけど、地域ごとに、児島だったら鷲羽山の瀬戸大橋、倉敷だったら美観地区、真備町は吉備真備公。地域の写真を背景にして。

市長

全部の小学校に26年度にまず配置しよう。予算が通ったばかりなんで、これから準備します。それでみんなで唱和しましょうと、通導の一環でするようにしています。

参加者Eさん

市民ふれあいトークを、聞く会になってしまっていますね。矢のように手があがらない

ですね。船穂の者です。

柳井原小学校の話ですけど、もう廃校になるではないかと。生徒は20人です。かつて一人だけの入学式があって、それが写真で報道され、多くの人が涙を流したというか、怒ったというんじゃないですけど、どういうことじゃということ、何でこんなに生徒が少なくなるんじゃと。今、20名ですと廃校になるようなことはないでしょうか。私はそれを心配する立場ではないですけど。

市長

今のところすぐに廃校になるということはないので、井上先生の方が詳しいんですけど。小学校とか幼稚園とか、つまり人数が少ない、例えば8人とか15人とか、少ないと子供たちにとっても、大きな集団の中で成長していくことも重要なことなんで。今すぐ柳井原小学校でそういう話があるわけではないですけど、これからどんどん少なくなって、もっともっと少なくなっていく場合には、やはりどういう形になるかわかりませんが、そういう検討も必要になるんじゃないかと思います。

参加者Eさん

ここで政治のことを言うのはよくないですけど、市議員が一人、船穂出身の市議員は田儀さんです。それでうちの地区でも非常に盛り上げて、選挙の時には一生懸命になつとんです。その政党に属しているかいないかに関わらず、何とか一人出さんといかんと。2人目が立候補しないんです。またいずれ過疎で学校が分校になる、あるいは廃校になる。それ以上に政治の上で市議員ゼロの地区、例えば黒崎なんかいないと思うんですけど、あそこは玉島地区としてのつながりがあります。船穂はゼロになったら非常に大変だと思って。これは議席を減らすという動きがありますよね。

市長

船穂の市議会議員さんを増やそうということですけど、倉敷市の市議会議員さんの人数は、今人口48万人に対して43人です。大体適正な規模は1万人に1人ぐらいが全国でも適正規模と言われておりまして、そういう面では船穂は7千何百人なので、大体は一人だと思んですが、地区で割り当てていてはないので。色々地域で今後頑張っているのを。柳井原はお正月のしめ縄を講堂でみんなですべていただいているので、ありがとうございます。

参加者Fさん

子ども会活動をしている者です。今ボランティアでジュニアリーダーズクラブというものを今年から指導をしているんです。中学生でボランティアに携わっていると、先生方に評価をしてもらえるのかどうか気になって。中高生の子供たちが今ボランティア活動をしているんですけど、その子供たちが上の学校に上がる中1、中2、中3、高校に入って内申書にプラスになるのか、ちょっとお聞きしたいと思って。

市長

例えば、今言われたボランティア活動のことなんですけど、高校生は去年ぐらいからで

すかね、高校で1年間で何日間かボランティア活動をしないといけないというふうになりまして。

参加者 F さん

それにサインはしてるんです、高校生の子には。でも中学校の子はボランティア活動をしていて部活動に入っていないから帰宅部みたいな子があって。この子たちの活動をこういう活動をしているんですよというのを学校に言って、理解してもらえるかどうか。

教育長

それは是非、学校へ言ってください。色んなお子さんの良い点を見つけるようにしています。個人懇談とかありますから、「こういうのをやっています」と是非、担任に言ってください。校長会でもそういうボランティアをされている方がいるという話をしておきます。

市長

ジュニアリーダーズクラブというのは、中学生？

(子ども会を卒業した子がその上を目指しているクラブなんで。)

ボランティアのことで、倉敷市で大学生のボランティアを皆さんに呼びかけをしまして、去年、全体で100人くらい大学生の人が応募に来てくれまして、自分の出身の小学校とか中学校に学校の帰りとか、夏休みの時とかに教えたり、子どもの相手をしたりとかと、来てくれるようになったんです。そういうことも増やしていきたいなと思っていますので、色んな大学とか、高校とか、中学ですとか各段階で、自分自身で成長するのも重要だと思いますけど、そういうことでやっていきたいと思っています。

参加者 G さん

子ども会役員をしています。学力低下で宿題を出したりして、向上させるのはもちろんいいんですけど、やっぱり先ほどおっしゃったように挨拶、それと助け合う心、それが今の子供はできていないと思うんです。ですから道徳の授業が難しかったら、朝の集会でちょっとしたことを教えるとか、そんなことをしていただけたらいいなと思います。それにはまず、家庭で挨拶をしたりとか、お手伝いをさせて、それが学校につながるようになっていくのも大事だと思うんで、その辺をどう考えているのか、よろしくお願いします。

市長

まずは集会(道徳)のことについて。

教育長

先ほど市長から市民憲章の話があったんですが、実はそれに関係があるんで、私は昨年福島県会津若松市に視察をさせてもらったんですが、「什」の掟というのが会津藩にはあるんです。実は子供用に市民の方が考えて、会津っ子宣言という、例えば「人をいたわります」「ありがとう、ごめんなさいを言います」「我慢をします」「卑怯な振る舞いをしません」「会津を誇り、年上を敬います」「夢に向かって頑張ります」「やっちはならぬ、やらねばならぬ、ならぬことはならぬ」地域独特のこれを小学校や幼稚園の小さい時から皆さんで

唱和している。こういったことを小さい時から是非やっていきたいなど。まず今市長が言われたように、いい市民憲章が倉敷市にはありますから、まずその市民憲章を覚えて、それがあ程度できたら子ども向けにこういうのを教育委員会で是非考えていきたいなと思っておりますので、お知恵を拝借できたらと思います。よろしく申し上げます。

市長

例えば、朝の集会の時にやっている学校もたくさんあると思うんですけど、良いことをした子供さんを先生が褒めましょうとか、発表しましょうとか、そういうのをやっていると思うんです。私を感じるのはい挨拶が少ないとか、それから今の子供さんは自分の意見をあまり言わない子供が多い、大学生とか大きくなって。例えばですけど、市役所の面接試験があります。私もたまに面接官で出るんですけど、その時にも皆、判で押したような答えばかり返ってくるわけです。そうじゃなくてもっと自分で考えて答えをしてもらいたいんです。そのためにも小さい頃から、自分で考えたりとか、自分だけじゃなくておじちゃん、おばちゃんから聞いて、こういうことをしたら怒られるんだとか、この人はこれをしたら褒めてくれたからいいんじゃないかとか、そういうのを色々な所で体験してもらったら、良い子供ができるんじゃないかと思っているんです。何か良い方策はないでしょうか。

参加者 H さん

子ども会で事務局をしています。先ほどの件なんですけど、子ども会のあり方というものの中にそういったものも含まれてくると思うんです。子どもが同級生だけとしか触れあわない。その年齢の考え方しかできない。子ども会は異年齢、1年生から6年生、先ほど言われました中学生、高校生、そしてもちろん私たち大人も含めます。そういうところにもう少し託していただけるような形をとっていただけるとありがたい。こちらから学校へ子ども会に入れと言ってくれ、ということも言いにくいんですけど、今の親御さんはどうしても月5000円払ってスポーツ少年団へ入れとけばいいわという考えをされている方が多いんですが、子ども会はその技術を磨くだけじゃなくて、色々な人と触れ合える場だと思うんです。だから面白いからもう20何年やっている。先ほども言われました若い子が挨拶ができない。もちろんうちの会社でも若い子はみんなそうです。自分の意見が言えない。そんな子ばかりです。小さい頃から親が全部、これしてやろう、ゲームを買ってやろう、そんなことをするからそんなふうになるんじゃないかなと思うんです。もっと子ども会に預けてほしいというのを言いたいんです。

もう一つ、今の勉強はちょっと速すぎるんじゃないかという気がしないでもないですよ。速いというのは進行速度が。もっと基本、基礎をじっくりやらせて、次のステップに進んでいかないと、基本ができていないんだから次のステップがもちろん把握できない。落ちこぼれる。そういう形もあるんじゃないかなと思うんです。そのために以前やっていたような補習がある。僕らみたいな頭が悪い人は、なかなか覚えれん子は少し残して、やらせたらと。

市長

そこがですね、学校も悩んでいるわけです。残したいわけなんですけど、残したら迎えに困

るわけですよ。それでみんな困っているわけです。親は働いているから迎えに行けない。

参加者 H さん

そこが一番ネックだと思うんです。親が本当に忙しい身だというのは、僕らも充分分かっています。だから夏休みとか、そういうところでしっかり教えていただけると、ありがたいなと。決して夏休みを短くしろとは言いませんよ。子ども会の運営も困りますから。

市長

夏休みの登校日をだんだん増やさないといけないと思いますけどねえ。

参加者 H さん

たぶん今から 15 年くらい前からいうと、だいぶペースが速くなっているような気がするんですよ。「おっ、おめえら、そんなことをもう習よんか」というようなことを時々感じますから、僕らでも分からんようなことを小学生が勉強していたら、教えようがない。

市長

どうですか。以前よりペースが速くなっていることについては。

教育長

以前に比べたら教える内容は増えていると思います。やはり小さい子で大事なのはできるまで、たぶん昔はリコーダーという縦笛は吹けるまで残してやられたと、皆さんご経験があるかと。今は時間がなくて途中でやめるから吹けないまま中学校に上がって、ずっと吹けない。おっしゃる通りでこれは教育の基本だと思います。ただ、今市長が言われたようにそこに時間が取れないのが、学校が一番悩んでいるところです。

参加者 H さん

できないままで次のステップにいけるという意識を子どもが持ってしまうんですよ。

市長

それでさっきの成績が悪い原因の小学校 3 年生の算数のところに、市だけで 7 千万円ぐらいの予算をつぎ込んで、支援員の人とかに入ってもらって、そのところを何回もクリアしてから、5 年とか 6 年に上がらないと分数とかできないわけですから。何回もやるということから、まずやっているんです。

今日学童クラブの関係の方もいらっしゃると思うんですが。放課後子ども教室は自分の興味があることを調べたりとか勉強のことも入っていると思うんです。学童の方でももちろん宿題をやってから遊びなさいと皆さん言うてくださっていると思うんですが、学校の先生もさっきお話が出ましたように非常に忙しく、かつ、いじめとか不登校とかの色々な対応もあって大変なところもあるんで、なかなか学校だけではできない状況にもなっていることもあり、もちろん一番は家庭だと思います。地域でもみんないろいろ言うてから、子供さんたちが「もっと自分がやらんといかんなあ」とか、「勉強せにゃあいかなあ」とか、「挨拶しないといけない」とか、そういうふうにならしたらできるかなあと、思

っております。挨拶とか道徳教育ですね。

参加者 I さん

児島から来ました。民生委員をしていたこともあります。

学童クラブで、今6時までになっているけど、6時をちょっと遅くして。気になる子供が一人、お父さんがリストラにあいまして、迎えに行くのが100%ではないと思いますけど、色んなことが関係しとんじゃないかと。お父さん一人ですから気を付けて、夜の11時、12時まで見に行ったりしようたんです。お父さんは働く場所がなくて、結局子供一人をほっといて、夜勤で働き、朝6時過ぎに帰って来る。今あっちこっち色々走り回ってサポートセンターとか子育て支援とか色々お願いしたんですけど、良いアイデアがない、もちろんサポートの会に私になってサポートをしてたんです。その都度電話して連絡せにゃあいけんです。仕事中に電話するということになりますので、何か良い方法がないかなあといつも考えているんです。

それからもう1点は子供の学力。実際に小学校3年生ぐらいですけども、「200グラムのリンゴをお母さんが半分にしてくれました。妹と二人で何グラムずつ食べたでしょう」というのがあったんですね。それである子供が白紙で出したんです。どうしてかと聞いたら「200グラムのリンゴを包丁で半分に切ったら100グラムにならん」と言うんですね。「片方は100グラムより多くて、片方は100グラムより小さくなる。ちょうど100グラムにはならん」と子供が言ったんです。「半分と書いてあるから半分だろう」と先生はおっしゃったと。妹と二人で半分わけするのを、親は「自分でしなさい」と上の子に言って、「自分で半分にしたんだから妹が先にとりなさい。残りはおまえのだ」と。小学校の子供が、1年生になったばかりで5月ごろに「僕の自転車に油を下さい」と。自転車に油をやったんです。「おじさん、摩擦抵抗が少なくなって、自転車が軽くなった」と言って喜んでいるんです。小学校1年生ですよ、5月に、びっくりしまして、そんな子供もおります。一概にこれが正しいとか、押し付けずに何か良い方法があれば。

それからもう1点、夏休みに子供が非行に走る原因の一つは、夏休みに問題があるだろうと思います。夏休みをどう過ごすかによって、かなり子供の将来に影響が及んでいる。学童保育を夏休みに特別に増やすとか、人数を増やして夏休みに特別に作るとか、学校の先生に私がお願いして気になる子供には、先生が学校に来られる時に声をかけて学校に来させてくださいと。そして、夏休みの宿題をと言っているんですが、その方法を考えてもらいたいなと思います。

市長

はい、ありがとうございます。何かコメントはありますか、教育長。

教育長

義務教育ですから、上位の子は放っておいても自然にと思うんで、とにかく、中学校を卒業した時に、社会に出て困らないようにしていくというのを1番に考えております。分からない子をちょっとでも分かるようにする方に力を入れていきたいと思います。

参加者 J さん

親子で集まる場を公民館で時々しているんですけども、子供の健やかな育ちということを考えることは、やはり地域づくりそのものかなと思うんです。子どもが小さい時には皆さん児童館に行かれたりするんですけど、そうするとなかなか地域の方と触れ合うことがなくて、児童館はやはり同じような世代の人ばかりなので、そういうことを考えた時に、私は公民館は大事な所だなあと考えていて。最近公民館で集まりをしても和室で飲食ができないので、小さい子供がいると水分補給も部屋の外に出てくださいと言われることもあって、館長さんとお話をすると、ある公民館では公民館はそもそも高齢者を対象につくられているのだと言われたんですけど、全国的には公民館がまちづくりセンターのような役割をしている所もあるので、やはり地域をつなぐという意味ではとても大事な場所にあるので、例えば公民館にベビーベッドがあるとか、授乳室があるとか、子どもが使いやすいトイレになっているとか、やはり小さい時から地域の人と顔が見える関係になるためには、やはり高齢者も子育て世代も両方が出入りをして、そこでつながっていく仕掛けがあるかなあと思います。なので、そういうふうに公民館の機能を少し充実していただくと、ありがたいかなと思います。

市長

はい、有難うございます。公民館は確かに大人の方が使われることが多いと思います。今のお話は公民館とか、私がちょっと考えたりしているのは、憩いの家があります。おじいちゃん、おばあちゃんの老人憩いの家で、確か連島だったかな、1か所、子供さんも一緒に遊べるようにということで。公民館もスペースの問題もあるかと思うんですけど、公民館に行事の時だけじゃなくて子供さんが来てくれるような方策が何かないかなと思うんですけど。子供用のトイレを付けるとかですかねえ。

参加者 Jさん

お料理を親子でしてるんですけど、食べる時に小っちゃい子は床に座って食べているんです。調理台が高いので食べれないから、地べたに座って食べるんです。和室で食べていいよと言ってもらえたらいいなと思ったりして。親子が集いやすいようお願いできたら。

参加者 Kさん

連島南中学校 P T A の者です。先ほどからお話を聞いていて、小学校から中学校まで P T A に関わらせていただいて、校長先生や先生が代わったりすると人によって方針が違って、挨拶の頻度も違うようになります。

私が P T A として、地域のことに関わらせていただいている中で、地区社協の場にも出させていただいたり、コミュニティ協議会の場にも出させていただいたり、市の方から色々な面でご支援を頂いていると思うんです。が、先ほどの公民館の話もそうですが、こういった援助していただいたものを有効に活用するにあたって、地域ごとにコミュニティ協議会だったり、地区社協だったり、子ども会さんだったり、P T A だったり、個別に活動している感がありまして、その辺を援助していただく上で、何かこうまとまって使えるような、もう少し使い勝手のいい支援の仕方をしていただくと、少し一本化していただけるような方策があれば助かるのかなと思っているんですけど、いかがなものでしょうか。

市長

なるほどですね。これまでのそれぞれの成り立ちがありますので、それぞれの元の活動に結構なっている所もあります。一方で防災のこととかもありますので、地区でコミュニティ協議会をぜひ作ってもらいたいということを市からお願いをして、その中に多くのところは地区内のほとんどの各種団体の皆さんが入っていただいているということにはなっているんです。なかなか難しいところがあると思うんですよね。これまでのそれぞれの団体の成り立ちがあるので、市の方で何でも全部統合して、コミュニティ協議会一本にしてくださいとか言うのも難しいと思いますし。ただおっしゃることはよく分かるんです。例えば、同じ人が色んな団体に出られている所も結構ありますので、そうすると同じような補助金が市から出る時も、何回も何回も同じようなことを書かないといけないとかあったりして、結構そういうことでの話もいただくんですが、ただ、この補助金はこの母体にしか出しませんというわけにもいきませんし、なかなか難しいというか、アイデアが出しにくいかなあとと思っているんですけどねえ。みなさんいかがでしょうか。

参加者 B さん

例えば、岡山市。町内の連合会、連合体がありますよね。倉敷市にはありますか。

市長

倉敷市には町内の全体の連合体はまだないんです。それが実際のところ、コミュニティ協議会というのが今40個くらい、やっとできてきたというところで。勿論、それぞれの地区ごとで、町内会とかはされているんですけども、それが例えば小学校区ごとでバッチリあって、それが市全体で皆さん会長さんが集まって、ということがまだできていないんです。そういうのをもっと進めたほうがいいですよ。

参加者 B さん

そういうのをもっと進めたほうがいいと思いますし、同じ地域に住んでいて、私は町内会に入っていないから、参加せんよとキツパリ言われる人がいらっしゃる。だけどゴミの日はどうでしょう？ゴミは捨てていますよ。地域で私有地に（ステーションを）置かせていただいている方もいらっしゃると思うんですけど。同じ地域に住んでいる以上、家庭があればゴミはでるでしょう。ゴミは捨てさせてもらうが、地域のことは参加しないよ、というのはエゴです。できれば町内会をキツチリ市のほうから要請をかけてやられれば、その中には子供会もありましょう、学校関係者の方もいらっしゃいましょう、という形で。古い町内は従来の流れがありますので、変えようはありませんが、新興の団地、特に新興のところはまず、町内会に入っていない方が多数じゃないかなと思われま。

先ほどの教育とも関係があるんですけども、義務教育だからということで非常に先生方も子供に対して言葉づかい、私らが小学校の頃は「おい、こら」と言われておりましたよ。今、小学生の子に対して、先生が敬語でしょう。何年前かわかりませんが、先生に評議員の立場として、生徒・児童に対して、さんというのはやめてくださいと提案したことがあるんです。これは教育委員会としては、いつ頃から開始されたんでしょうか。

教育長

これは20年くらい前から。

市長

たぶん、女子に「さん」で、男子に「くん」というのは良くないという話からでしょう？
統一して、男子も女子も「さん」でいきましょうと。

参加者Bさん

人権というのが非常に厳しくなった時点で、そういうふうになったんだと思うんですけど。ほんなら、僕らのころは人権がなかったんじゃないかという気持ち。学校の先生は非常に頭がいいよなど。特に岡山県の教育は職員の試験を受けるときに 難しいですよ、他県に比べて。僕はそういうふうにとっとるんです。だから、いくら年齢が下でも先生はすごいよなど。5倍、10倍の難関を突破した先生よなどという気持ちがあるので、立てたいんだけど、生徒は全く立ててない。小学校の時に「さん」づけがネックになっとなかと思えますよ。

市長

「さん」付けだけじゃあないかと思えます。どうですかね。先生によりますかね。指導はどうでしょう。全員を「さん」で。「さん」と「くん」ではまずいんでしょうかね。

参加者Bさん

小学生時代に「さん」づけされて、中学校になって呼び捨てされたら、子どもはびっくりしますよ。その辺の改善も必要だと思いますよ。青少年もやりながら見てきて、評議員の関係で小学校も中学校もやっていますが、先生にしょっちゅう言うんだけど、それは言われとるから直せれんと。校風もあると思うんです。

市長

自由にやったらどうでしょかね。まずいんですかね。検討してみてください。

参加者Bさん

もう1点、市民憲章を、子ども憲章という名前で募集したら？

教育長

それも考えてみます。

市長

まず、市民憲章です。まず、市民憲章を丸覚えでもいいですからね、子どもですから。丸覚えをして、段々何回もやっていったら、意味が分かってきてという作戦でね。

参加者Lさん

婦人協議会のものです。実は先ほどの方と正反対の意見でありまして。婦人会をしている関係上、学校評議員というのをさせていただいております。よく先生方と話をするので

す。先生方の言葉がとても聞くに堪えないというか、そういう言葉で生徒に話をされている、先生同士で話をされている、それを聞いた時に相手を大切に思う心があれば、そんなに悪い言葉は出てこないはずだと私は思っているんですけど。子どものお手本ですから、先生は。先生方からそういう規律をきちんとしていただきたいと思います。

それに体育の授業のときはスポーツウエアを先生はつけられますけど、子どもは授業が終わった後にきちっと制服に着替えます。でも先生は、そのまま続けられているという方も結構お目にかかります。そういう規律をまず先生方からきちんとしていただいたら、よるいいんじゃないかと思います。やっぱり良い言葉は、良い雰囲気醸し出しますし、ちょっと一歩引いて考えることができます。だから、倉敷中の学校がきれいな言葉であると学校自体も落ち着くのではないかと私は思っています。

市長

確かに私も朝の色々な行事とかで、学校の前を通ったりすることもあるんですけども、校長先生が7時半くらいから、毎日子どもの頭をなでて、挨拶とかをしている学校はやっぱりあまりいじめとかもなかったり、でもそうじゃなくて全部任せているところは案外、問題があったり、色々先生の方針によっても違うかと思えますね。

教育長

そこらあたり、学校の教員のほうも去年でしたか、国が体罰調査を全国でしたんです。これが大変でして、お聞きした中で1年生の子が先生に首をしめられたというのをアンケートに書いているんです。よく聞いてみると、教頭先生がよう頑張ったなと肩をかかえたのが、1年生の子は教頭先生に首をしめられたと。やっぱりそこはよう考えてやらないと、教育から逸脱してしまうので、よく学校の実態を見ながら、それぞれの学校・地域によってもそういうことがあると思うので、その辺りをしっかり校長と検討したいと思います。

市長

私も今の話、ちょっと脱線するんですが、子どもの頭をなでますよね。よくやったねとか言って。実は市の姉妹都市の中国の鎮江市というところに行ったんですよ。行事で、パーと子どもさんが出て、旗とかを振ってくれるわけですよ。それでいい子ねと頭をなでたら、中国の鎮江市の職員の方から、中国では子どもの頭をなでたらいかんと言われたんです。なでられるのがよくないと。なので、地域・国によっても違うし、色々なことを気を付けないといけないと、ちょっと余談でしたけれど。

参加者 M さん

連島東小学校のPTAものです。先ほどからのお話で、保護者の方に問題があるというご指摘がありまして、私も耳が痛いんですが、小学校の学力が低下していることを危惧しております。先ほどからもお話がありましたが、夏休みを有効に使って戴けないかと。プールの指導なんかで、せっかく先生に来ていただいているんで勉強のほうも見ていただくような指導をしてくださらんかなと考えています。夏休みは暑いんで勉強にならんということになってくると思うんです。是非、エアコンを。お金がいることなんですけど、考えていただけないかと。関東のほうは私の調べたところ、7割8割くらいついていると、9

割の市もあると聞いております。関西のほうは非常に低調だというような状況でありますので、予算が大変だとは思いますが、エアコンをつけていただいて、夏休みを有効に使って、子どもの勉強をちょっと後押ししてくださるとどうかなと、いかがでしょうか。

市長

まず、エアコンのことですね、市議会でも質問がでます。実は倉敷市の小中学校の教室は全部で1500教室があるんです。それで、一般の家庭につけるエアコンと学校につけるエアコンとは規模が違います。1クラスにつけるのに最低でも100万円とか200万とかいるんです。そうすると1500×200万だと30数億になるんです。今の段階では計画も立っていないんです。関東とかでつけられている、地域によっても勿論、事情は違うと思うんですが、例えば、こうやったら安くつけられるとか。若しくはつけた後の電気代がネックになって、そこは例えば、月に100円くらい親御さんからいただいても電気代にあてたいとか、それでもつけたいとか。若しくは、変な話ですけども、受験がある中3とかを優先してつけたいとか色々意見があったり。他のところでも導入されているところもあると伺っておりますので、今、それを調べているところです。1500教室あるものですので、一挙につけるのは難しいと思っているんですけども、どういうつけ方なのか、維持費とかの面をどうするのかというのを、ある程度方針を検討してから、対策ができればなど、市議会の答弁みたいで申し訳ないんですけども。

夏休みもプールの後に勉強してもらったら、涼しいんじゃないでしょうか。逆がいい、勉強してから、プールですね。よく検討します。図書館や保健室、何箇所か特別教室はついているんですよ。

参加者Nさん

このような会に今日、参加させていただいてありがとうございます。今日のようなテーマはあらかじめ、市のほうで設定されるんでしょうか。私たちは今、福祉プラザで認知症予防の講座に参加させていただいております、その時の話で切実な問題を、後期高齢者くらいになると抱えております。そういったものをテーマに選んでいただきたい、今日私は申込みをしたら、ちょっとテーマからはずれていますねと言われたんですけども、一応参加させていただいたんです。テーマについてお尋ねしたいんですが。

市長

テーマは皆さんにアンケートを書いていただいたりとか、申し込みの時にどういう興味がありますかと。最近、防災のこととか多いんですけども、福祉のこととか、そういうのを参考にして、課のほうであまり1つばかりに集中しないようにということではしています。また、福祉のこととかも勿論、やっていきたいと思っております。

参加者Oさん

倉敷西中学校区で拠点といわれる0～3歳の乳幼児と保護者が集まる広場をしているものです。今日の話聞きながら、子どもは急に小学生にはならないし、学校だけではダメだし、家庭もと思う中で、してもらうのが当たり前みたいなお母さんたちが多いう話を聞いて、親子クラブも役員をしなきゃいけないから、役員になる前にやめる、子供会

も役員がくるといやだから。いやいや誰のためのというところが全然欠けていて、そもそも何のためにそれがあるの、子どもたちのためでしょということを今、私たちは一生懸命伝えているんです。親は子供ができたからといって急に親になれるわけではなく、循環の中で親ってというのはとか、そういう考える機会を増やし、地域の支えを増やし、ということで、それこそつなぐが横だけでなく縦とか線のつなぎなら、全体で考えていけるような倉敷市になれば、子育てするなら倉敷でということにもつながるなと思いながら、今日、お話を聞かせていただき、私たちの役割も一層強く感じました。

市長

ありがとうございます。子どもさんだけではなく、親御さんですね。親御さん、家庭が大事ですので、親の教育と言われる方もいらっしゃいますし、学校でも親御さんに来てもらって、親御さんも一緒に考えてもらうことをなるべくやるようにされていると聞いております。親がゲーム世代の親御さんもいらっしゃるんですが、親御さんも子どもさんと一緒に、より自分を高めていただけるような、そういうつもりで頑張っていきましょう。

時間が過ぎまして大変恐縮ですが、今日の市民ふれあいトークは以上とさせていただきますたいと思います。皆さんからいただきました貴重なご意見を市政のほうで、我々市の執行部が考えたり、色んな調査をしたりする時とか、施策を考えたりする時に参考にさせていただきますたいと思っております。今日は皆様、どうもありがとうございました。